

	がんちやいかむ ちょには
氏 名	KANCHAIKHAM CHONNIPA
学位(専攻分野)	博 士 (学 術)
学 位 記 番 号	博 1 1 7 7 号
学 位 授 与 の 日 付	令和 7 年 3 月 21 日
学 位 授 与 の 要 件	学位規則第 4 条第 1 項該当
研 究 科 ・ 専 攻	工芸科学研究科 建築学専攻
学 位 論 文 題 目	Conveying Cultural Identity Toward Accommodation Architecture in Chiang Mai Heritage District, Thailand (タイ・チェンマイ遺産地区における宿泊施設に対する文化的 アイデンティティの伝達)
審 査 委 員	(主査)教授 高木 真人 教授 角田 晓治 准教授 大田 省一

論文内容の要旨

本研究は、チェンマイ旧市街（遺産地区）の宿泊施設の計画・設計にあたって、建築家が文化的アイデンティティ（チェンマイらしさ）をどのように解釈し、どのようなデザインコンセプトを組み合わせて、表現・伝達しようとしたかということを論じたものである。チェンマイは京都と同じく古くからの歴史を有し、古い寺院や建物が多く残る古都であり、その旧市街エリアは各種の建築規制も設けられ、文化的アイデンティティの表現・伝達がとても重要なエリアである。一方で、現代におけるチェンマイの文化的アイデンティティは、より幅広い解釈がなされ、多様な広がりを持ったものとなっている。本研究は、建築家がチェンマイ旧市街の宿泊施設にふさわしいと思われる文化的アイデンティティとしてどのようなデザインコンセプトを受容・認識したのか、その中から何を選択して組み合わせて計画・設計したのか、計画・設計されたものは他者から見てどのように評価されるのか、という「受容・承認」「選択」「評価」という 3 つの段階で構成されている。

本研究調査では、チェンマイ旧市街における 8 つの宿泊施設・建築家を対象としている。対象とする宿泊施設は 2015 年以降に建築された高い評価を得ている施設であり、様々な文化的アイデンティティの要素が含まれている。「受容・承認」「選択」の段階におけるデータは、文献調査と建築家へのインタビューを通じて収集され、「評価」の段階のデータはチェンマイに住んでいる建築の専門知識を持つ被験者に対するアンケートにより収集された。

「受容・承認」の段階では、建築家は敷地特性、周囲の環境、現代社会、空間利用、ビジネス戦略に影響されて文化的表現を受容・承認することが多い一方で、市の条例規制は建築家の考えにほとんど影響を与えていなかった。「選択」の段階で参照されるのは、チェンマイに根付くランナーカ文化だけではなく、近代シャム時代の住宅建築や第二次世界大戦後のショッップハウスも含まれ、伝統から近代を経て現代までの生活様式が融合していた。ショッップハウスについては将来的な保存活用や計画・設計への応用の可能性を秘めていることも指摘できる。

建築家へのインタビュー調査から、60 のデザインコンセプトの要素が抽出された。これらは、大きく 1)具体的・2)抽象的・3)自然気候条件の 3 つのカテゴリーに分類できる。建築家がこれら

のデザインコンセプトの何を選択し組み合わせたのか傾向を把握するため、〈頻繁にみられる組み合わせ〉と数少ないものの〈特徴的な組み合わせ〉という二つの側面から分析した。〈頻繁にみられる組み合わせ〉では、7つのデザインコンセプトが共通していた。特に、1)気候への適応と持続可能性、2)敷地特性の把握、3)伝統的な建築の認識、4)自然・地元の生活・社会的交流の統合 5)屋内緑地の眺めを重視し、環境に優しく快適な空間の創出を目指したことが分かる。一方、〈特徴的な組み合わせ〉は、1)日常的な文化継承・地域の知恵・周辺環境との関係、2)透明性・活気のある雰囲気・人々の交流・視覚的な快適さ、3)風向・断熱材・既存物の維持などによるものであった。

「評価」の段階では、チェンマイにおける建築の専門知識を有する若い世代を対象に行ったアンケートをもとに分析した。文化継承・地域の知恵に関するデザインコンセプトの重要度はやや低く捉えられていたが、自らが計画・設計する際には積極的にデザインコンセプトとして取り入れたいという傾向がみられた。一方、自然に関するデザインコンセプトの重要度は高く捉えられていたものの、自ら計画・設計する際の優先度としてはあまり高くないという傾向がみられた。

総じて、宿泊施設を通じて文化的アイデンティティを伝えるためには、歴史的要素をデザインコンセプトとして復活させるだけではなく、各施設の状況に合わせて計画・設計のアプローチが柔軟にカスタマイズされていくであろうことを示している。本研究の成果は、地域の規制のもとで計画・設計される宿泊施設を通じて、いかに文化的アイデンティティを効果的に伝えるかという点において、チェンマイに限らず他の伝統的都市・旧市街地などにも応用できるものである。

論文審査の結果の要旨

本研究は、チェンマイ旧市街（遺産地区）の宿泊施設の計画・設計にあたって、建築家が文化的アイデンティティ（チェンマイらしさ）をどのように解釈し、どのようなデザインコンセプトを組み合わせて、表現・伝達しようとしたかということを論じたものである。2015年以降、規制が制定され、観光都市としての急成長もあり、チェンマイ旧市街における宿泊施設の計画・設計はますます重要なテーマとなっている。今後も観光都市として成長していくことが見込まれ、ニーズに合った研究テーマであるといえる。本研究では8人の建築家を対象としてインタビューを行なっているが、そこから得られた60のデザインコンセプトについて様々な角度から詳細な分析がなされていることが評価できる。また、分析においては、〈頻繁にみられる組み合わせ〉として各建築家に用いられやすいデザインコンセプトの組み合わせを把握することはもちろん重要であるが、その宿泊施設が立地する場所や周辺環境が大きく異なる場合もあるので、〈特徴的な組み合わせ〉についても分析・把握することが重要であり、多様な視点から分析したことが評価できる。

審査員からの質問として、インタビューの対象となった建築家の年齢・世代を問うものがあった。建築家の年齢・世代は、主に40-50代が多く、一部20代の建築家も含まれていた。つまり、旧市街における建築の計画・設計に対する規制が開始された2015年の前後をともに知る世代とも捉えることができるであろう。また、2015年に制定された規制の内容のうち宿泊施設の計画・設計に特に影響を与えるものをピックアップしてその概要を追記することで、規制による影響の有無がより明確に示されるようになった。さらに、建築家の考えたデザインコンセプトが意図し

た通りに伝わっているのかを確認する上では、建築の専門知識を有する者と有しない者との比較、チェンマイに居住する者と居住していない者との比較、タイ人と日本人との比較など比較分析することで、建築家にとってより有用な知見を得られると思われ、今後の展開にも期待したい。

なお、本研究は、以下の4編の研究論文（うち査読付の国際論文が2編）を中心として構成されている。このほか、宿泊施設に関する参考論文として査読付研究論文1編がある。

① “The factors that affect the design decision of cultural identity expression in hotel architecture in Chiang Mai city, Thailand”, Kanchaikham Chonnipa, Takagi Masato, 日本建築学会大会学術講演梗概集建築計画, pp. 1193-1194, 2023

② “Exploring Cultural Referents for Conveying Cultural Identity Towards Accommodation Architecture in Chiang Mai Heritage District, Thailand”, Kanchaikham Chonnipa, Takagi Masato

アジア建築交流国際シンポジウム (ISAIA: International Symposium on Architectural Interchange in Asia) (査読付), A-7-1, 2024

③ “Frequent design concepts for conveying cultural identity toward accommodation architecture in Chiang Mai heritage district, Thailand”, Kanchaikham Chonnipa, Takagi Masato, Journal of Asian Architecture and Building Engineering (査読付), pp.1-26, 2024

④ “Distinctive Design Concepts for Conveying Cultural Identity Toward Accommodation Architecture in Chiang Mai Heritage District, Thailand”, Kanchaikham Chonnipa, Takagi Masato

Proceeding of the Asian Planning School Association Congress, at press